

5. 検討会及びワークショップの開催

中部運輸局、アドバイザー、知多市、(一社)知多市観光協会、岡田街並保存会、観光関係事業者・団体、金融機関関係者等を構成員とした検討会及び、地域住民を対象としたワークショップを開催した。

また、本検討会やワークショップで出た意見等を「知多木綿発祥の地・岡田 “つむぐ” 織姫のまちづくり構想」の立案に活用した。

(1)実施概要

下記の通りに検討会及びワークショップを開催した。

1)検討会

日時・ 議題	第一回	令和4(2022)年11月2日(水)15時～
	第二回	令和5(2023)年1月27日(金)15時～
	第三回	令和5(2023)年3月2日(木)15時～
場所	岡田まちづくりセンター	
対象者	地域団体	(一社)知多市観光協会 知多市商工会 岡田街並保存会 木綿蔵・ちた
	地域事業者	いろりや千樹 知多木綿アンテナショップ478 OKD KOMINKA BREWING、SoN オカトク株式会社
	アドバイザー	(株)NOTE
	知多市	企画情報課 都市計画課 市民協働課 生涯学習スポーツ課(歴史民俗博物館) 商工振興課
	金融機関	知多信用金庫 愛知銀行 半田信用金 碧海信用金庫 名古屋銀行 三菱UFJ銀行 あいち知多農業協同組合

2)ワークショップ

日時	第一回	令和4(2022)年12月3日(土)16時~18時
	第二回	令和4(2022)年12月18日(日)16時~18時
場所	第一回	SoNDining
	第二回	岡田まちづくりセンター
参加者	地域住民及び検討会参加者 ※アドバイザー、銀行関係者は除く	

(2)実施記録

1)検討会

■議題と主な意見交換

	議題	意見交換内容
第一回	(1) 本事業の目的・内容の共有 (2) 各種調査の方法・内容について確認・検討 (3) 岡田地区のまちづくりについて意見交換	これまでのまちづくりの取組について
第二回	(1) 各種調査の進捗状況報告 (2) まちづくりワークショップの報告 (3) まちづくり構想(骨子検討案)について	まちづくり基本構想(骨子検討案)について
第三回	(1) 各種調査の進捗状況報告 (2) まちづくり構想(案)について	まちづくり構想(案)について

○第一回会場写真



○第二回会場写真



○第三回会場写真



2)ワークショップ

■意見交換内容

意見交換内容																
第一回	<p>ワーク1：地域の強み・弱み ワーク2：20年後にどのような地域になりたいか</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ワーク1：地域の強み・弱み</p> <p>① 街並み良い 人材が少ない 付箋紙に地域の強み・弱みを一人ひとり書き出します。 ピンク：強み ブルー：弱み</p> <p>② まちなみ良い 街並み良い 人材が少ない 高層ビル 意見を班内で共有し、強み・弱みごとにグループビュウイングします。 最も多い・共感を集めた意見に赤シールを付けます。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ワーク2：20年後にどのような地域になりたいか</p> <p>① 20年後の地域イメージ 地図で街色を守る ワーク1での多い・共感を集めた意見をもとに、付箋紙に20年後にどのような地域になりたいかを一人ひとり書き出します。</p> <p>② 20年後の地域イメージ 地図で街色を守る 20年後のコンセプト 意見を班内で共有し、最も多い・共感を集めた意見を班の「20年後のコンセプト」として1つ選びます。</p> </div> </div> <p style="text-align: center;"><20年後のコンセプト></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 50%; text-align: center;">1班</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 50%;">自然と伝統を残した若者が集うまち</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 50%; text-align: center;">2班</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 50%;">古民家で街をデザインする (住民だけでなく地域愛のある外部の方も参画できる)</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">3班</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">岡田ディズニーランド計画 (駐車場を整備し、岡田地区との間を商店で繋げる)</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">4班</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">街並みを守りつつ、若者を中心に盛り上げる</td> </tr> </table> <p>※詳細は資料編「ワークショップ」参照</p>	1班	自然と伝統を残した若者が集うまち	2班	古民家で街をデザインする (住民だけでなく地域愛のある外部の方も参画できる)	3班	岡田ディズニーランド計画 (駐車場を整備し、岡田地区との間を商店で繋げる)	4班	街並みを守りつつ、若者を中心に盛り上げる							
1班	自然と伝統を残した若者が集うまち	2班	古民家で街をデザインする (住民だけでなく地域愛のある外部の方も参画できる)													
3班	岡田ディズニーランド計画 (駐車場を整備し、岡田地区との間を商店で繋げる)	4班	街並みを守りつつ、若者を中心に盛り上げる													
第二回	<p>ワーク1：取組のアイデア・提案 ワーク2：取組みやすい・達成したいプロジェクト</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ワーク1：取組のアイデア・提案</p> <p>① テーマ① 空き家等活用 テーマ② 知多木綿関連 4班に分かれ、「20年後のコンセプト」を基に設定した4つのテーマごとに、今後5年間で実施するべき取組を記載します。</p> <p>② テーマ① 空き家等活用 テーマ② 知多木綿関連 意見を班内で共有し、似た意見をグループビュウイングします。その後、テーマごとにまとめた、類似があるテーマへ併替えを行います。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ワーク2：取組みやすい・達成したいプロジェクト</p> <p>① テーマ① 空き家等活用 ワーク1で提案した取組案についてグループ内で確認・共有を行い、今後5年間で実施するべきプロジェクトについて、地図を用いながら考えます。</p> <p>② テーマ① 空き家等活用 取組やプロジェクトについて、最も取組みやすいものに赤シール、最も達成したいものに青シールを付けます。</p> </div> </div> <p style="text-align: center;"><テーマ別プロジェクトの内容></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>最も取組みやすいプロジェクト</th> <th>最も達成したいプロジェクト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>テーマ①：空き家等活用</td> <td>女子寮・雅休邸・土井家・旭屋の活用</td> <td>弘法宿の復元</td> </tr> <tr> <td>テーマ②：知多木綿関連</td> <td>SNS (Instagram) を用いた情報発信</td> <td>「木綿とえば岡田」の実現</td> </tr> <tr> <td>テーマ③：街並み保全</td> <td>JA や福祉会館の幅広い利用</td> <td>空き家活用をしやすくする制度設計</td> </tr> <tr> <td>テーマ④：回遊性向上</td> <td>小学生によるまちあるきと発信 (写真誌)</td> <td>「ここに来ないと体験できない」の実現</td> </tr> </tbody> </table> <p>※詳細は資料編「ワークショップ」参照</p>		最も取組みやすいプロジェクト	最も達成したいプロジェクト	テーマ①：空き家等活用	女子寮・雅休邸・土井家・旭屋の活用	弘法宿の復元	テーマ②：知多木綿関連	SNS (Instagram) を用いた情報発信	「木綿とえば岡田」の実現	テーマ③：街並み保全	JA や福祉会館の幅広い利用	空き家活用をしやすくする制度設計	テーマ④：回遊性向上	小学生によるまちあるきと発信 (写真誌)	「ここに来ないと体験できない」の実現
	最も取組みやすいプロジェクト	最も達成したいプロジェクト														
テーマ①：空き家等活用	女子寮・雅休邸・土井家・旭屋の活用	弘法宿の復元														
テーマ②：知多木綿関連	SNS (Instagram) を用いた情報発信	「木綿とえば岡田」の実現														
テーマ③：街並み保全	JA や福祉会館の幅広い利用	空き家活用をしやすくする制度設計														
テーマ④：回遊性向上	小学生によるまちあるきと発信 (写真誌)	「ここに来ないと体験できない」の実現														

○第一回会場写真



○第一回ニュース

当日の様子

当日の会場の様子を掲載します。

▲1班の様子 ▲2班の様子
▲3班の様子 ▲4班の様子 ▲発表の様子

各班の「20年後のコンセプト」紹介

各班で話し合った「20年後の地域のコンセプト」を掲載します。

前	自然と触れ合えた遊歩道が暮らしている。	2班	公園や遊歩道が暮らしの中心になる。
3班	自然と触れ合えた遊歩道が暮らしの中心になる。	4班	街並みを守りつつ、若者を中心に盛り上げる。

当日の主な資料

事業やワークショップの趣旨説明を行った後、岡田地区の地図をもとに、地域の歴史について情報提供を行いました。

次回開催 テーマ：プロジェクトのアイデアを考えよう！ 12/18(日)16:00

第1回 岡田繊維まちづくりワークショップ

ワークショップふりかえりニュース

「どんなまちにしたいか、想いを語り合いました！」

令和4年12月3日(土) 16:00~18:00 S&N Dining (第1回ワークショップ)

- 開会、あいさつ、説明
- ワークショップ (全2回) の趣旨説明 情報提供
 - 「地域に残されているレガシーについて (建物について) 」
 - 「おじいさんの生活について」
- 各班に分かれ意見交換
 - 「地域の強み・弱みについて」
 - 「20年後にどのような地域にしたいか」
- 各班ごとに「20年後のコンセプト」を決定
- 発表
- 閉会

NEWS

ワークショップの流れ

今回のワークショップは、付箋を用いた形式で、2種類のテーマのワークを行いました。ワークにより、参加者それぞれが地域に対して感じている思いやビジョンを言葉で表し、班の中で共有することで、参加者の思いを班ごとにコンセプトとしてまとめることができました。

ワーク2：20年後にどのような地域にしたいか	ワーク1：地域の強み・弱み
<ul style="list-style-type: none"> 20年後の地域イメージ 20年後のコンセプト 	<ul style="list-style-type: none"> 強み 弱み

ワークショップの意見まとめ

参加者で協議した内容を下記にまとめました。

1班	2班												
<table border="1"> <tr> <th>強み</th> <th>弱み</th> <th>20年後の地域イメージ・コンセプト</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 歴史 自然 人 建物 公園 商店街 コミュニティ 自然と触れ合えた遊歩道 自然と触れ合えた遊歩道 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 交通 自然 人 建物 公園 商店街 コミュニティ 自然と触れ合えた遊歩道 自然と触れ合えた遊歩道 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 歴史・景観 自然と触れ合えた遊歩道 公園 商店街 コミュニティ 自然と触れ合えた遊歩道 自然と触れ合えた遊歩道 <p>20年後の地域のコンセプト</p> <p>自然と触れ合えた遊歩道が暮らしの中心になる</p> </td> </tr> </table>	強み	弱み	20年後の地域イメージ・コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> 歴史 自然 人 建物 公園 商店街 コミュニティ 自然と触れ合えた遊歩道 自然と触れ合えた遊歩道 	<ul style="list-style-type: none"> 交通 自然 人 建物 公園 商店街 コミュニティ 自然と触れ合えた遊歩道 自然と触れ合えた遊歩道 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史・景観 自然と触れ合えた遊歩道 公園 商店街 コミュニティ 自然と触れ合えた遊歩道 自然と触れ合えた遊歩道 <p>20年後の地域のコンセプト</p> <p>自然と触れ合えた遊歩道が暮らしの中心になる</p>	<table border="1"> <tr> <th>強み</th> <th>弱み</th> <th>20年後の地域イメージ・コンセプト</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 自然 公園 商店街 コミュニティ 自然と触れ合えた遊歩道 自然と触れ合えた遊歩道 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 交通 自然 人 建物 公園 商店街 コミュニティ 自然と触れ合えた遊歩道 自然と触れ合えた遊歩道 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 自然 公園 商店街 コミュニティ 自然と触れ合えた遊歩道 自然と触れ合えた遊歩道 <p>20年後の地域のイメージ・コンセプト</p> <p>自然と触れ合えた遊歩道が暮らしの中心になる</p> </td> </tr> </table>	強み	弱み	20年後の地域イメージ・コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> 自然 公園 商店街 コミュニティ 自然と触れ合えた遊歩道 自然と触れ合えた遊歩道 	<ul style="list-style-type: none"> 交通 自然 人 建物 公園 商店街 コミュニティ 自然と触れ合えた遊歩道 自然と触れ合えた遊歩道 	<ul style="list-style-type: none"> 自然 公園 商店街 コミュニティ 自然と触れ合えた遊歩道 自然と触れ合えた遊歩道 <p>20年後の地域のイメージ・コンセプト</p> <p>自然と触れ合えた遊歩道が暮らしの中心になる</p>
強み	弱み	20年後の地域イメージ・コンセプト											
<ul style="list-style-type: none"> 歴史 自然 人 建物 公園 商店街 コミュニティ 自然と触れ合えた遊歩道 自然と触れ合えた遊歩道 	<ul style="list-style-type: none"> 交通 自然 人 建物 公園 商店街 コミュニティ 自然と触れ合えた遊歩道 自然と触れ合えた遊歩道 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史・景観 自然と触れ合えた遊歩道 公園 商店街 コミュニティ 自然と触れ合えた遊歩道 自然と触れ合えた遊歩道 <p>20年後の地域のコンセプト</p> <p>自然と触れ合えた遊歩道が暮らしの中心になる</p>											
強み	弱み	20年後の地域イメージ・コンセプト											
<ul style="list-style-type: none"> 自然 公園 商店街 コミュニティ 自然と触れ合えた遊歩道 自然と触れ合えた遊歩道 	<ul style="list-style-type: none"> 交通 自然 人 建物 公園 商店街 コミュニティ 自然と触れ合えた遊歩道 自然と触れ合えた遊歩道 	<ul style="list-style-type: none"> 自然 公園 商店街 コミュニティ 自然と触れ合えた遊歩道 自然と触れ合えた遊歩道 <p>20年後の地域のイメージ・コンセプト</p> <p>自然と触れ合えた遊歩道が暮らしの中心になる</p>											
3班	4班												
<table border="1"> <tr> <th>強み</th> <th>弱み</th> <th>20年後の地域イメージ・コンセプト</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 自然 公園 商店街 コミュニティ 自然と触れ合えた遊歩道 自然と触れ合えた遊歩道 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 交通 自然 人 建物 公園 商店街 コミュニティ 自然と触れ合えた遊歩道 自然と触れ合えた遊歩道 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 自然 公園 商店街 コミュニティ 自然と触れ合えた遊歩道 自然と触れ合えた遊歩道 <p>20年後の地域のイメージ・コンセプト</p> <p>自然と触れ合えた遊歩道が暮らしの中心になる</p> </td> </tr> </table>	強み	弱み	20年後の地域イメージ・コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> 自然 公園 商店街 コミュニティ 自然と触れ合えた遊歩道 自然と触れ合えた遊歩道 	<ul style="list-style-type: none"> 交通 自然 人 建物 公園 商店街 コミュニティ 自然と触れ合えた遊歩道 自然と触れ合えた遊歩道 	<ul style="list-style-type: none"> 自然 公園 商店街 コミュニティ 自然と触れ合えた遊歩道 自然と触れ合えた遊歩道 <p>20年後の地域のイメージ・コンセプト</p> <p>自然と触れ合えた遊歩道が暮らしの中心になる</p>	<table border="1"> <tr> <th>強み</th> <th>弱み</th> <th>20年後の地域イメージ・コンセプト</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 自然 公園 商店街 コミュニティ 自然と触れ合えた遊歩道 自然と触れ合えた遊歩道 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 交通 自然 人 建物 公園 商店街 コミュニティ 自然と触れ合えた遊歩道 自然と触れ合えた遊歩道 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 自然 公園 商店街 コミュニティ 自然と触れ合えた遊歩道 自然と触れ合えた遊歩道 <p>20年後の地域のイメージ・コンセプト</p> <p>自然と触れ合えた遊歩道が暮らしの中心になる</p> </td> </tr> </table>	強み	弱み	20年後の地域イメージ・コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> 自然 公園 商店街 コミュニティ 自然と触れ合えた遊歩道 自然と触れ合えた遊歩道 	<ul style="list-style-type: none"> 交通 自然 人 建物 公園 商店街 コミュニティ 自然と触れ合えた遊歩道 自然と触れ合えた遊歩道 	<ul style="list-style-type: none"> 自然 公園 商店街 コミュニティ 自然と触れ合えた遊歩道 自然と触れ合えた遊歩道 <p>20年後の地域のイメージ・コンセプト</p> <p>自然と触れ合えた遊歩道が暮らしの中心になる</p>
強み	弱み	20年後の地域イメージ・コンセプト											
<ul style="list-style-type: none"> 自然 公園 商店街 コミュニティ 自然と触れ合えた遊歩道 自然と触れ合えた遊歩道 	<ul style="list-style-type: none"> 交通 自然 人 建物 公園 商店街 コミュニティ 自然と触れ合えた遊歩道 自然と触れ合えた遊歩道 	<ul style="list-style-type: none"> 自然 公園 商店街 コミュニティ 自然と触れ合えた遊歩道 自然と触れ合えた遊歩道 <p>20年後の地域のイメージ・コンセプト</p> <p>自然と触れ合えた遊歩道が暮らしの中心になる</p>											
強み	弱み	20年後の地域イメージ・コンセプト											
<ul style="list-style-type: none"> 自然 公園 商店街 コミュニティ 自然と触れ合えた遊歩道 自然と触れ合えた遊歩道 	<ul style="list-style-type: none"> 交通 自然 人 建物 公園 商店街 コミュニティ 自然と触れ合えた遊歩道 自然と触れ合えた遊歩道 	<ul style="list-style-type: none"> 自然 公園 商店街 コミュニティ 自然と触れ合えた遊歩道 自然と触れ合えた遊歩道 <p>20年後の地域のイメージ・コンセプト</p> <p>自然と触れ合えた遊歩道が暮らしの中心になる</p>											

○第二回会場写真



○第二回ニュース

当日の様子

当日の会場の様子を掲載します。

▲開会 ▲意見交換の様子 ▲発表（テーマ1）の様子
▲発表（テーマ2）の様子 ▲発表（テーマ3）の様子 ▲発表（テーマ4）の様子

各テーマの「取組みやすい・達成したいプロジェクト」紹介

テーマ別に選んだ「最も取組みやすいプロジェクト」「最も達成したいプロジェクト」を掲載します。

テーマ	最も取組みやすいプロジェクト	最も達成したいプロジェクト
テーマ1：空き家等活用	女子寮・強体部・土井家・旭屋の活用	弘法橋の復元
テーマ2：知多水縁関連	SNS（インスタグラム）を用いた情報発信	「木縁と言えば岡田」の実現
テーマ3：街並み保全	JAや福祉会館の幅広い利用	空き家活用をしやすくする制度設計
テーマ4：回遊性向上	小学生によるまちあるきと発信（写真撮影）	「ここに来ないと体験できない」の実現

当日の主な資料

ワークの前の情報共有として、岡田ゆめみたいと岡田街並保存会の活動を紹介いただくとともに、丹波篠山市への視察と旧女子寮の調査について報告を行いました。

▲岡田ゆめみたい ▲情報共有の様子 ▲丹波篠山市への視察
▲岡田街並保存会 ▲情報共有の様子 ▲旧女子寮の調査

プロジェクトや取組のアイデア提案を行いました！

令和4年12月18日(日)
16:00~18:00
岡田まちづくりセンター2階ホール
【第2回ワークショップ】

- 開会・あいさつ、説明
- ワークショップの趣旨説明、前回ワークショップの振り返り情報提供
 - 岡田ゆめみたい（藤崎氏）
 - 岡田街並保存会（徳野氏）
 - 視察報告：丹波篠山市
 - 調査：旧女子寮
- 4班に分かれ意見交換
 - 「取組のアイデア・提案」
- 興味がある、話したいテーマを選び、座移動の後意見交換
 - 「5年間で実施するべきプロジェクト」
- 班ごとに「最も取組みやすいプロジェクト」と「最も達成したいプロジェクト」を決定
- 発表
- 閉会

「5年間で実施するべきプロジェクト」

今回のワークショップは、前回選んだ「20年後のコンセプト」を前提に、前回同様に付箋を用いたグループワーク形式で行いました。前半はすべてのテーマを話し合い、後半は自分の興味のあるテーマへ席替えを行うことで、プロジェクト実施に向けての意欲を高めることができました。

ワークショップの流れ

ワーク2：取組みやすい・達成したいプロジェクト	ワーク1：取組のアイデア・提案
<p>ワーク1で提案した取組案についてグループ内で確認・共有を行い、今後5年間で実施するべきプロジェクトについて、地図を用いながら考えます。</p> <p>取組やプロジェクトについて、最も取組みやすいものに●赤シール、最も達成したいものに●青シールを付けます。</p>	<p>4班に分かれ、「20年後のコンセプト」を基に設定した4つのテーマごとに、今後5年間で実施するべき取組を記載します。</p> <p>意見を班内で共有し、似た意見をグループリングし、その後、テーマごとにまとめた、興味のあるテーマへ席替えを行います。</p>

第2回 岡田織姫まちづくりワークショップ

ワークショップふりかえりニュース

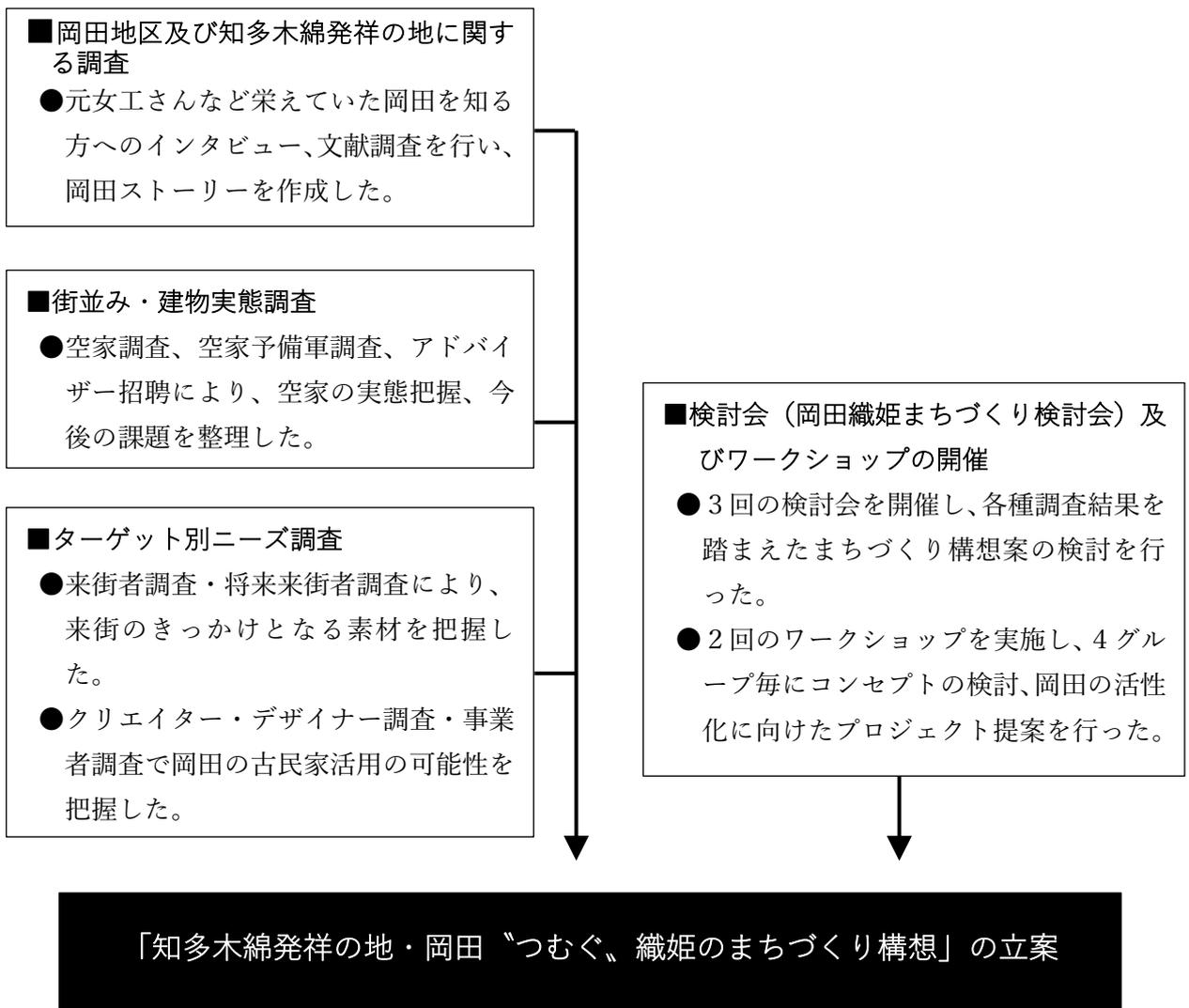
■発行月 2022年12月
■発行元 岡田まちづくりセンター
■編集者 岡田まちづくりセンター

6. 「知多木綿発祥の地・岡田 “つむぐ、織姫のまちづくり構想” の立案

調査結果及び検討会、ワークショップで出た意見等を踏まえて分析・考察を行い、「共創で輝くノスタルジックなまち」としてのレガシーを形成するための基本戦略となる「知多木綿発祥の地・岡田 “つむぐ、織姫のまちづくり構想” を立案した。

(1) まちづくり構想立案までのフロー

まちづくり構想の立案にあたっては、以下の調査・検討を踏まえ作成を行った。



(2)まちづくり構想

1 知多木綿発祥の地・岡田の概要

- 岡田地区は、江戸時代から昭和30年代まで知多木綿の生産地・集積地で栄えた街であり、最盛期には木綿工場や商店、劇場などが軒を連ね、約3,000人も女工さんが働くほどの賑わいだったと言われています。
- 今も、国登録有形文化財「知多岡田簡易郵便局」、「木綿蔵ちた(旧竹内虎王商店木綿蔵)」、「旧岡田医院」、「旧中七木綿本店」をはじめ、個人の所有する約100の蔵など、築100年を超える古民家が現存しており、往時の賑わいを偲ばせるノスタルジックな街並みや建物が残されています。
- 近年は少子高齢化などで保存に携わる担い手が不足し、街並みの持続的な保全に対する課題も顕在化しています。一方、若い経営者が古民家を活用した新たな楽しみ方を生み出しており、さらに新たな価値創造を図ることが期待されています。



『知多木綿発祥の地として蓄積されてきた歴史や機織り文化』と『これまで継承・保全されてきたノスタルジックな街並み・建物』が知多市岡田地区のレガシー形成に向けたキーワード

<知多木綿発祥の地>

- 知多木綿は、江戸時代の初期から知多半島で生産されてきた綿織物であり、その美しい生地は最高級の木綿として江戸に広まりました。
- 知多地方は、我が国の木綿織の中心地の1つであったことから、その紡織習俗と関連用具がよく残っており、「知多木綿の紡織習俗」として、国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選定されています。

<ノスタルジックな街並み・建物>

- 岡田地区の懐かしさを感じるノスタルジックな街並みは、他の古い街並みと異なり、行政があまり介入することなく地域住民の努力によって保存されてきた点が特徴です。
- 近年、古民家を活用した小規模商業施設、クラフトビールのブリュワリー、知多木綿のアンテナショップなど昔の建物を保存しながら現代の新たな楽しみを取り入れた活用も始められている一方、空き家の増加、古民家等の取り壊しなど、街並みの保全が課題となっています。

2 レガシー形成に向けた岡田地区のまちづくり課題

<知多木綿発祥の地>

- 現状**
- 現在も操業を続ける織物生産工場「オカトク岡田工場・岡田東工場」
：往時の木綿産業を支えた女工寮として使われていた建物も現存(不使用、老朽化)
 - 機織り体験施設:「木綿蔵ちた(体験中心)」、「伝承知多木綿つものき(教室中心)」
 - 知多木綿アンテナショップ「chitacotton478」開業
 - インバウンドのニーズとしては「本格的な体験」や「岡田にしかない商品」への期待が高い



- 課題**
- ▼織物生産工場や旧女工寮、機織り体験施設など、知多木綿に関連する地域資源を効果的に活用し、『知多木綿発祥の地』を地域ブランドとした岡田の魅力・付加価値をさらに高めていくことが必要
 - ▼知多木綿発祥の地として蓄積されてきた歴史や文化を踏まえて、「岡田にしかない商品」、「岡田でしかできない体験」などといったウリを明確にしていくことが必要

<ノスタルジックな街並み・建物>

- 現状**
- 登録有形文化財の4つの建物をはじめ、岡田中心部だけでも歴史的価値のある建物(昭和中期以前の建物)が167件(273棟)も立地し、歴史的な街並みを形成している。
：中心部の旧道沿いに歴史的価値のある建物が特に集積する
 - しかし、近年は空き家が増加しており、上記のうち20件(31棟)が空き家となっている。近い将来に空き家になる懸念がある潜在的な空き家も加えると数は倍になる。
 - これまで明確なルールがない中でも地域住民の努力によって保存されてきた街並みであるが、今後も住民の努力のみで街並を保全していくことは難しくなる恐れがある。
 - ニーズ調査の結果からも、岡田地区の魅力として「歴史的な建物・街並み」や「古民家を活用した店舗など」が大きな要素と考えられる。
 - インバウンドのニーズとしては、古民家を活用した宿泊施設の人気の高い。

- 課題**
- ▼空き家の活用や潜在的な空き家の将来的な空き家化・除却の抑制を地域全体で取組み、「歴史的な建物・街並み」を保全していくことが必要
 - ▼空き家活用や街並み保全を地域全体で取組むための仕組み・体制づくり、ルールづくりが必要

3 まちづくりビジョン

●地域住民などの想い「20年後の地域イメージ」

<歴史・街並み・建物>

- 歴史のある古い街並み・建物、景観が残る
- 祭り、伝統、提灯が残る
- 古い建物の良さを生かした店・宿がある
- 文化遺産の保存・展示
- 空き地を活用

<体験・機能>

- ディープな体験ができる
- 新しい店・宿ができる、新名物ができる
- 半日、一日楽しめる
- 住民の移動を支える交通システム
- 大きな駐車場

<人・地域>

- 住民が誇れる・自慢できる、郷土愛がある
- コミュニケーションがある、住みやすい
- 知多半島 No.1 の名所になる、知名度があがる
- 岡田の良さに気づく人が増える

<子ども・若者>

- 子どもの声が聞こえる、子どもの学びになる
- 若者が多い
- 若者が盛り上げる・まちづくりに参加する
- 次世代が住み続けられる

●地域住民などの想い「20年後の地域コンセプト」にかかるキーワード

歴史・伝統を大切にする / 古い街並み・建物を守る / 古民家、空き家・空き地を活かす / 若者が集う、若者が盛り上げる / 子どもが住み続けられる / 住民が誇れる・住みやすい

●来街者・潜在的来街者のニーズ「岡田地区に期待するイメージ」、「岡田地区の魅力向上に必要なこと」

古い街並みやなつかしい景色 / 古民家を活用した居心地の良いカフェや雑貨店 / 名物となる食べ物、食べ歩き・散策 / 一日楽しめる回遊性・滞在性 / アクセスしやすさ・駐車場

●インバウンドのニーズ

欧米やアジアの個人旅行客の誘客可能性 / 宿泊施設の充実や知多木綿の体験充実が重要

●クリエイター・事業者等のニーズ

古民家等を活用した知多木綿に関わる創作活動、多様な事業展開の可能性

●まちづくりビジョン

知多木綿発祥の地としての歴史文化・街並みを次代に継承していく

住民がまちに誇りをもって暮らせる子どもたちが地域に定着できる

地域外の人にも知多木綿発祥地・岡田の魅力伝え、感じてもらう

【ターゲット】 地域住民

- ★住民が大切にしたいものを守り・継承する⇒次世代の子ども達に残す
- ★住民が住み続けたいまちにする⇒住民が利用したいもの、働く場をつくる

【ターゲット】 岡田の魅力・価値に共感する来訪者・観光客

- ★SoN などへの来訪者を、よりコアな岡田ファンにする
- ★古民家や街並み、知多木綿のファン、女性を惹きつける
- ★中長期的には、インバウンド観光客の来訪・滞在にも対応できるように

<まちづくりビジョンの実現に向けて取り組むべき方向性>

<方向性1>

これまで地域で守り続け来た歴史文化や街並みをこれからも大切に保全・継承していく

<方向性2>

歴史的価値のある古民家や空き家などを有効に活用し地域の魅力・機能を高める

<方向性3>

知多木綿を岡田の地域ブランドとして育て効果的に活用していく

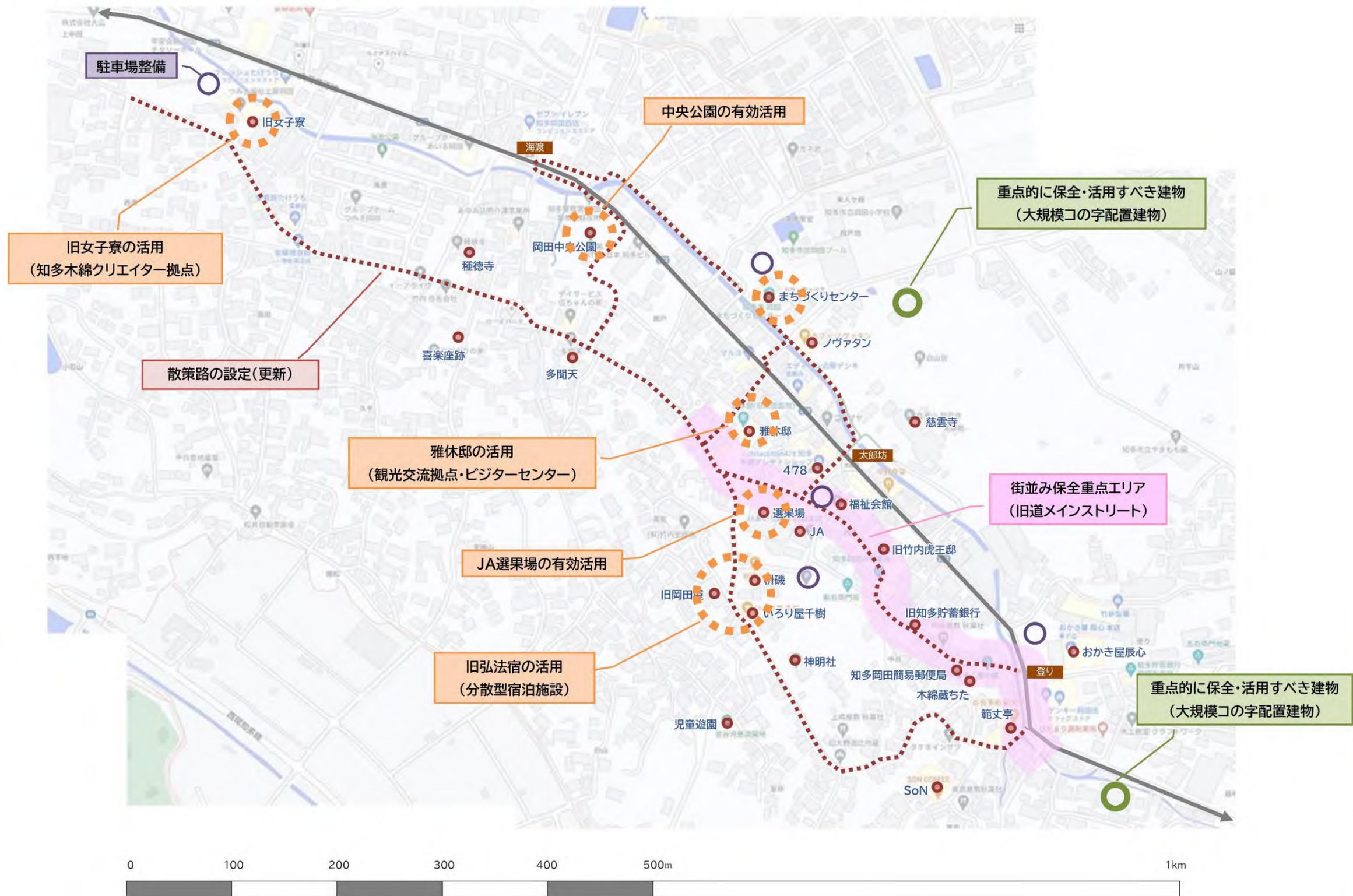
<方向性4>

岡田の魅力を広く伝えるため情報発信によるPR強化と街の誘客力・回遊性を高める

4 知多木綿発祥の地・岡田「つむぐ」織姫プロジェクト

プロジェクト1 街並み・建物の保全	<織姫プロジェクトとしての展開方向>	
<p style="text-align: center;"><地域からの提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ○メインストリートの設定 ○古い建物のクリーンアップ、子ども達を巻き込んだイベント化 ○知多木綿のれんの作成とまちなかへの取り付け ○新築・改築時に基準を設定 ○建物維持の方法など建築家のレクチャー開催 	<p>展開1 保全すべき街並みや建物の明確化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●街並み保全重点エリア(メインストリートなど)の設定 ●重点的に保全すべき建物の設定(文化財登録だけでない地域独自の選定) ●保全への理解を深める啓発イベント(建物お掃除ワークショップ、のれん取り付けなど)
	<p>展開2 街並み保全のゆるやかなルールづくりと共有化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●新築・改築時の参考基準、維持保全方法の参考例などをまとめたマニュアル作成 ●街並み保全の重要性を地域全体で共有する勉強会などの開催、人材育成講座の開催など
プロジェクト2 古民家・空き家の有効活用	<織姫プロジェクトとしての展開方向>	
<p style="text-align: center;"><地域からの提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ○雅休邸の活用(ビジターセンター) ○旧女子寮の活用(アーティストインレジデンス、工房、女性用住居、宿泊施設) ○JA選果場、福祉会館の活用(主目的だけでなく幅広い利用、観光案内所、カフェ、街並み散策の拠点) ○土井家の岡田の文化財の展示・保存の場としての利用 ○宿泊施設にリノベーション、弘法宿(4か所)の復元 ○空き家活用を行いやすくする制度設計・税控除やインセンティブの活用 	<p>展開3 拠点となる施設整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●雅休邸、旧女子寮の活用検討(観光交流拠点・ビジターセンター、知多木綿クリエイター拠点、宿泊機能の拠点などとしての利用) ●JA選果場、福祉会館、中央公園など既存施設の有効活用策の検討
	<p>展開4 飲食・物販・宿泊機能等の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●空き家・古民家等を活用した飲食・物販・宿泊機能等の導入に向けた事業化の促進 ●旧弘法宿などを中心とした宿泊機能の導入に向けた事業化の促進
	<p>展開5 空き家・古民家活用促進のための仕組み・制度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●空き家・古民家の情報の収集・集約体制・利活用にあたっての相談体制の構築 ●空き家・古民家の利活用にあたっての助成制度など
プロジェクト3 知多木綿による地域コンテンツの充実	<織姫プロジェクトとしての展開方向>	
<p style="text-align: center;"><地域からの提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ○活動の連携(つものき×木綿蔵×478)→新たな商品の開発 ○他地域との連携(有松など)と歴史探訪→体験の充実 ○機織り機レンタルサービス、照明器具「木綿のあかり」の開発 ○昔の生活を体験できる、ツアー実施 ○若者が関わられるようなクリエイティビティのある取組 	<p>展開6 知多木綿発祥の地・岡田にしかない商品づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●連携による商品開発(つものき×木綿蔵×478+飲食店、知多木綿商品・飲食メニューなど) ●知多木綿の技術・道具などを活用した商品づくり(照明器具「木綿のあかり」など)
	<p>展開7 知多木綿発祥の地・岡田でしかできない体験・学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●機織り体験・学習機会の充実(木綿蔵での体験、つものきでの教室+プラスα) ●機織り機レンタルサービス・機織りシェアワーキング、本格的な機織り学習機会など ●知多木綿を次世代に継承する啓発イベント(ワークショップ CHITAMOMENT など) ●他地域と連携した体験メニュー・観光ルートの造成(有松絞など)
プロジェクト4 回遊性の向上と情報発信	<織姫プロジェクトとしての展開方向>	
<p style="text-align: center;"><地域からの提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ○歩道橋をまちの入り口としてシンボリック化、坂道を活かした散歩道 ○移動手段(セグウェイ、高齢者用カート、馬車、トウクトウ的な乗り物) ○食べ歩きできるまちづくり ○知多木綿の着物を着て散策 ○桜をPRするイベント、紅葉を楽しめる観光スポット、織姫まつり(練り歩き) ○ブランド力を意識した情報発信、知多木綿を中心としたPR戦略 ○着物で歩ける・写真映える街としての情報発信 	<p>展開8 岡田に来たくなる、岡田の街を歩きたくなる仕掛け</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●散策路の設定(更新):駐車場配置、街の入り口・メインストリート・散歩道の明確化 ●岡田の魅力をPRするイベントの企画・開催(季節ごとの魅力、知多木綿の魅力など) ●着物を着て散策、食べ歩きしながら散策を楽しめるような取組 ●地区内の移動を支える・楽しみながら移動できる手段の導入(レンタサイクルほか移動手段) ●駐車場の充実
	<p>展開9 情報発信・PR戦略</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●SNSの活用、子ども・若者の力を活かした情報発信 ●「木綿と言えば岡田」を実現するPR戦略(着物を着て散策したい街、写真映える街) 岡田のストーリーを発信、岡田にしかない商品・岡田でしかできない体験をPR

4 知多木綿発祥の地・岡田 つむぐ、織姫プロジェクト（まちづくり構想図）

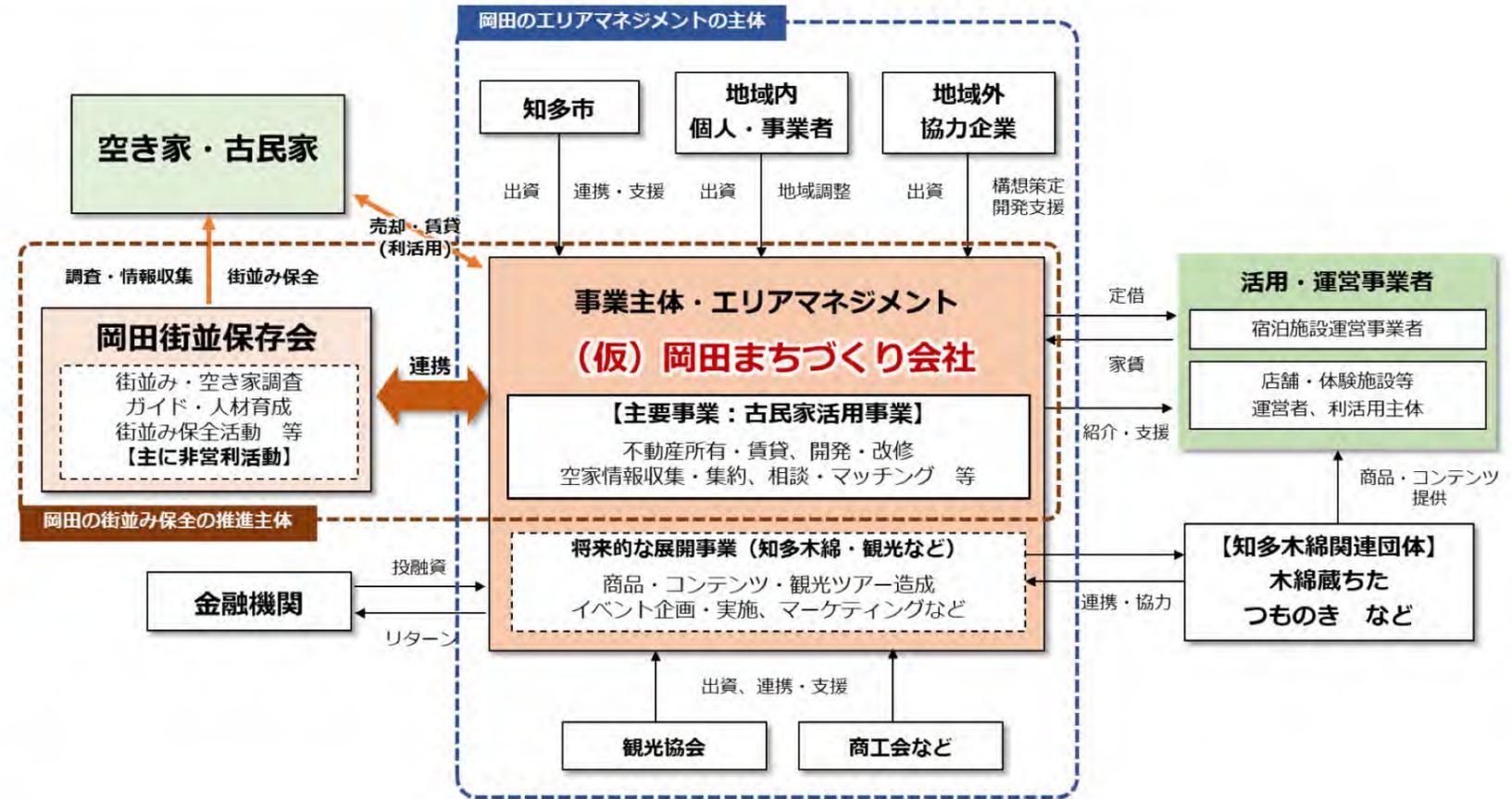


5 プロジェクトの推進に向けて

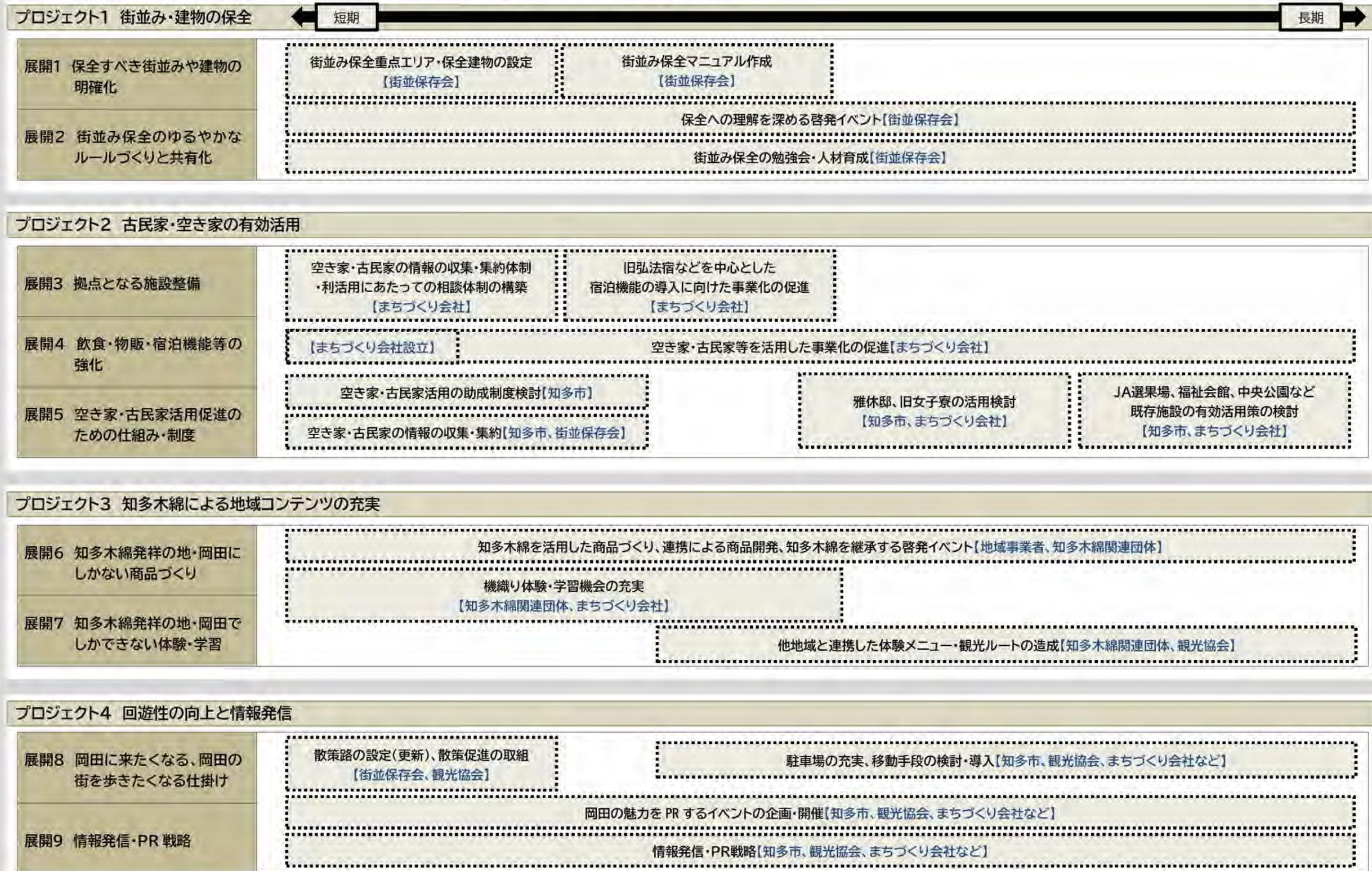
<推進体制のイメージ>

「(仮)岡田まちづくり会社」の設立推進

- 各種調査の結果から、古民家の利活用を行い、岡田地区全体のまちづくりを推進していく組織(「(仮)岡田まちづくり会社」とする。)の必要性が強く示唆された。
- 「(仮)岡田まちづくり会社」は、岡田街並保存会とともに、岡田の街並み保全の推進主体となり、エリアマネジメントの役割も担いながら、主に古民家活用事業などを展開することとする。
- 「(仮)岡田まちづくり会社」は、事業主体として古民家活用を牽引するほか、国等の交付金を活用した事業の提案・実施や、知多市と協働・連携したまちづくり事業の実施などを通して、岡田地区のまちづくりのコーディネーターとしての役割も担っていく。
- 将来的な展開としては、知多木綿を活用した商品開発、コンテンツ造成なども、観光協会や商工会などとの連携のもとに事業展開していくことも見据える。



5 プロジェクトの推進に向けて ～事業展開のイメージ～ (想定する実施主体・スケジュール)



(3) 今後に向けて

岡田地区及び知多木綿発祥の地に関する調査として、知多木綿発祥の地・岡田ストーリーの作成を行った。今後はこのストーリーをまちづくり活動でも活用し、まちづくりに関わる人達の拠り所として使われていくことが期待される。

街並み・建物実態調査においては、空家の現状が明らかとなり、令和元年度より対象地区においても空家が倍増している実態が明らかとなった。空家予備軍意向調査において、古民家を将来的に存続していくためには、地域関わった相談先を作っていくことの必要性が確認された。今後に向けて、新たな相談先の確保とともにアドバイザーからのアドバイスを踏まえ、人的な支援や保全するためのルールづくり、景観の魅力を再発見する仕掛けづくりを国の補助事業なども活用しながら実施していくことが望まれる。

ターゲット別ニーズ調査では、来街者調査及び将来来街者調査を通じて、古民家を活用したカフェ等の店舗の存在が、来街者を誘引することができる確認された。また、歴史的街並み・建物に対する評価も高く、街並み・建物実態調査で確認された空家・空家予備軍を保全・活用していくことが、岡田の活性化には重要となっている。こうしたなか、クリエイター・デザイナー調査及び事業者調査において、条件つきながら空家の活用希望が確認された。実際の活用にあたっては、個別事業者等の物件条件（立地、広さ、費用）などを仲介組織によりマッチングさせる仕組みを検討していく必要がある。

今回作成したまちづくり構想は、キーマンとなる方々と十分な意見交換を行い、思いを共有しながら立案されたものであるが、具体のプロジェクトについては、今後充実させていく必要があり、令和5年度の国の補助事業などを通じて内容のブラッシュアップを行い、併せて「(仮) 岡田まちづくり会社」の設立に向けての動きを具体化し、試験的な運用を行っていくことが望まれる。

知多木綿の最盛期に活躍した女工さんたちが岡田に惹きつけられたように、時代を超えて現代の女性たちを惹きつける場としていくためには、ノスタルジックな街並みや古民家を活かした空間の提供等により、女性が活動し、遊び、暮らす「つむぐ」織姫のまちづくりが求められる。同時に、新たなクリエイターの拠点として創作仲間が集まり、多様な交流活動・創作活動・経済活動を活発化させることで、知多木綿で栄えた往時のにぎわいを取り戻す展開へ繋げていくことが望まれる。こうした知多木綿を活かした新たな賑わい創出への取組みやノスタルジックな街並みの保存・活用を地域一帯で段階的に進めていくことにより、知多木綿発祥の地・岡田の価値や魅力を、将来にわたって人々を惹きつけるレガシーとして発信し、国内外からの来街者を呼び込むことが重要である。

令和4年度将来にわたって旅行者を惹きつける地域・日本の新たなレガシー形成事業
「知多木綿発祥の地・岡田 “つむぐ、織姫のまちづくり構想” 形成事業」

事業実施報告書

受注者 ランドブレイン株式会社 名古屋事務所
〒461-0001 愛知県名古屋市東区泉1-1-35
ハイエスト久屋ビル8F
TEL 052-971-7253